



こんにちは、まちかど図書館ぼたんです！梅雨が明け、夏の陽射しがまぶしい季節となりました。暑さが日ごとに増してまいりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。熱中症や夏バテに気をつけて、どうぞご自愛ください。

今月のニュースレターでは、6月の座談会の様子を中心に、図書館の活動をお届けします。

Topic 01 第7回イベント、開催しました！

2025年6月28日に、第7回目となるイベントを行いました。今回のスピーカーは、本棚オーナー様の政崎英二さんで、「日本酒のこと只今勉強中！～おススメの信州のお酒を教えてください～」をテーマにお話をしてくださいました。今回は、本棚オーナーの山下さん、攪上さん、堀内さんと、まちづくり長野の宮島さん、築山ゼミ生の千野、小原、婁、重田、西川の10名が参加しました。

【本棚オーナーになったきっかけ】

政崎さんが本棚オーナーになったきっかけは、手芸関係が趣味の奥様が「旧ボタンのいとう」に足を運んだことでした。元々、仕事の関係で長野県立大学と関わりがあり、奥様からこの図書館の活動のことを教えてもらったことで本棚オーナーになったとのこと。

幼少期はあまり本を読んでおらず、社会人になってからも仕事関係の本を読むくらいだった政崎さんですが、東京に転勤になって通勤時間が長くなったことで本を読むようになったそうです。祖父母が時代劇が好きで一緒に見ていたことから、時代小説をよく読んでいました。

政崎さんの本棚には、時代小説はもちろん、小学生のころから好きな日本ハムファイターズの雑誌、今回のイベントテーマとなっている日本酒の本、ジョージ・オーウェルや村上春樹などの本が置いてあります。

【今までどんなお酒を飲んできたのか】

転勤族であることから、これまで全国各地で仕事をしてきた政崎さん。今回のイベントでは、これまでの飲酒歴を時系列に沿って紹介していただきました。

九州の方で働いていた時は焼酎、北海道ではビールといったように、それぞれの地で代表されるお酒を嗜んでいたとのこと。日本酒に関しては、悪酔いしてしまうということで極力飲まないようにしていたそうですが、東京で働いていた時に会った「玉櫻」という日本酒をきっかけに好きになったとおっしゃっていました。

【長野県の酒造業界がすごい！】

政崎さんの考える長野県の酒造業界のすごいと思われる点を4つ紹介していただきました。

- ①たくさんの小さな酒蔵
- ②天下の「7号酵母」！
- ③酒造好適米・美山錦
- ④女性杜氏がたくさん



【たくさんの小さな酒蔵】

長野県内には約80の酒蔵があり、全国2位の数を誇ります。しかし、生成量で比較すると長野県は全国12位です。メーカー単位だと、県内1位の宮坂醸造は全国トップクラスの酒蔵と比較して30分の1の生成量であり、小さな酒蔵が多いことが分かります。また、経営危機や火災などの災難があっても生き延びていく酒蔵の事例があることから、地域で愛されている証拠なのではないかとおっしゃっていました。

【天下の「7号酵母」！】

良くお酒が作れる酵母を協会で培養して酒蔵に分けたものを「協会酵母」と言いますが、長野県で誕生した協会酵母があります。それが「7号酵母」です。「真澄」で有名な宮坂醸造で生まれ、昭和21年に認定されたこの酵母は、現在日本で一番使われている酵母であり、日本の清酒業界で大活躍している酵母だそうです。



【酒造好適米・美山錦】

1978年に長野県で誕生した酒造好適米の「美山錦」は、全国に約100種類ある酒造好適米で3位の生産量を誇ります。現在は長野県だけでなく東北地方でも作られているそうです。稲の丈が短くて倒れにくいという特徴を持ち、この米を使った日本酒はすっきりとした味わいになるそうです。

【女性杜氏がたくさん】

全国にある1500の酒蔵のうち、女性杜氏がいるのは57蔵で、長野県には8蔵あるとのこと。上田や信州新町、岡谷などの酒蔵に女性杜氏の方がいるそうです。

【おすすめの日本酒】

お話の中で、政崎さんおすすめの日本酒を紹介していただきました。日本酒が好きになるきっかけとなった「玉櫻」の他に、長野県の美山錦を使った「悦凱陣（よろこびがいじん）」、長野県の酒蔵で作られる「斬九郎（ざんくろう）」などの日本酒の名が挙がりました。参加者の方とも、付箋を使っておすすめの日本酒の情報交換を行いました。

【信州は日本酒王国】

長野県は「信州日本酒王国」とも称されるように、清酒業界の実力が際立っています。その魅力と凄さを改めて知ることができた、非常に興味深いお話でした。参加者からは、日本酒について知らないことがたくさんあった、これから日本酒を楽しみたい、という感想が挙がりました。ゼミ生からは、そもそも日本酒を飲んだことがないという意見が多く、今回のお話から日本酒を飲んでみたいとの感想が挙がりました。今回お話をお聞きして感じた日本酒の魅力が多くの人に伝わり、多くの人が日本酒文化を長く楽しんでほしいと思いました。



長野県立大学の前身は、1929年に創立された長野県女子専門学校です。今年は、創立96年となります。本学の同窓会「六鈴会」は、1933年に創立され、90周年を記念して、2023年に、「ろくれい奨励賞」が創設されました。その目的は、「幅広く地域で活動する学生を支援すること」です。今年は、第3回となりました。わが築山ゼミも、「まちかど図書館ぼたん」の活動にて、エントリーし、2月20日（木）に、4年ゼミ長の千野さんと、同じく4年の山本君の二人がプレゼンし、見事に、「ろくれい奨励賞」を受賞することができました。5月24日の六鈴会定期総会にて、表彰を受けました。これもひとえに、オーナー様や利用者様のおかげです。



Topic 03

第4回長野県立大学SDGs地域貢献アイデアコンペティション受賞

長野県立大学は、学生の視点や発想で、SDGsへの理解を深める企画立案とその実施を支援するとともに、地域貢献を推進することを目的に、第一生命保険株式会社長野支社様と、炭平コーポレーション株式会社様の支援を受けて、「SDGs地域貢献アイデアコンペティション」を2022年から開催しています。今回は、7月16日（水）に、本学ラーニングホールにて、コンペが行われました。

わが築山ゼミも、エントリーし、「まちかど図書館ぼたん」のオーナー様拡大、利用者様拡大を目指し、一周年記念イベントの実施、10000枚のチラシを、32の住民自治協議会及び88の市内小中高校他に配布するなどをプレゼンした結果、見事に、「地域と県立大に安心と幸せを賞」（スポンサー：第一生命保険株式会社）を受賞することができました。



「まちかど図書館ぼたん」は、9月14日に、いよいよ一周年を迎えます。長野県立大学の築山ゼミ生が図書館の店番をしながら、何とか綱渡りで一周年を迎えることができました。これもひとえに、オーナー様、利用者様の暖かく支えて頂きましたおかげです。

そこで、一周年を記念して、イベントを開催することになりました。

期日：2025年9月27日（土）

場所：まちかど図書館ぼたんとは別会場（予約中）

内容：みんとしよアンバサダー風間一毅様ご講演

「一箱本棚オーナー制度図書館の可能性ー全国のみんとしよをふまえてー」（仮題）
25名のオーナー様座談会などを予定

風間様は、みんとしよアンバサダーとして、全国に現在100あるみんとしよ（一箱本棚オーナー制度の図書館、みんなのとしよかんを略してみんとしよ）の多くをボランティアで訪れ、全国のみんとしよの状況を最もご存知の方です。毎年3月に実施されている「全国みんとしよサミット」でも、活躍されております。今年の3月22日に、わが「まちかど図書館ぼたん」にも来て頂き、色紙も頂いております（現在、「まちかど図書館ぼたん」に展示しておりますので、ご覧ください）。

イベントへの皆様のたくさんのご参加をお待ちしております！



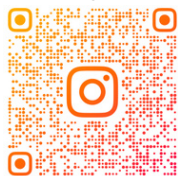
Topic 05

開館時間について

ホームページ



Instagram



開館時間は10時から18時までですが、ゼミ生と教員が店番をしている関係で、その時間内で、可能な時間に開館しております。詳細はホームページまたはInstagramで確認をお願いいたします。

URL: <https://machinakabotan.com/www.machinakabotan.com/>

Topic 06

アクセス



〒380-0826

長野市南長野北石堂町1185-6

JR長野駅から徒歩7分、

※専用駐車場はございませんので、車でお越しの際はお近くのコインパーキングへのご駐車をお願いいたします。



2025年7月31日発行

編集：長野県立大学 グローバルマネジメント学部 築山ゼミナール

住所：〒380-8525 長野市三輪8-49-7 B309研究室

Tel：026-217-2241（代表） fax：026-235-0026

E-mail: tsukiyama.hideo@u-nagano.ac.jp